



切りばな えんだま い ながも ほんとう 切花に10円玉を入れると、長持ちするって本当なの

か はな びせいぶつ 花びんの花がだめになるのは、微生物のせい

か はな ふゆ すうじつかん げんき なつ おお
花びんの花は、冬には数日間、元気ですが、夏には、すぐ、しおれてだめになることが多
いんですね。なぜでしょうか。

なつ きおん たか か なか びせいぶつ げんき ま
夏のように気温が高いと、花びんの中にある微生物が元気で、あっという間にふえていき
ます。そのため、切り花の切り口が、すぐべとべとして(微生物がくっついてくさりかけて
いる)、水を吸い上げる所がつかまってしまい、花はしおれてくるのです。水をこまめにか
えてやり、切り口を少し切ったりしても、夏などは、微生物のふえるほうが勝ってしまうこ
とが多いのです。冬は気温が低いので、微生物などもあまりふえませんが、花が長持ちす
るのです。

えんだま さっきんこうか 10円玉には殺菌効果がある

えんだま ひょうめん どう えんだま いろ きんぞく どう いろ
10円玉の表面は、銅でできています。10円玉の色は、金属の銅の色といえるくらい
です。10円玉を水に入れておくと、銅がわずかにとけだし、銅の強力な殺菌力で、水中
の微生物がふえるのを防いでくれるのです。

りょうり つか にほんしゅ すこ か みず い さっきんこうか
料理に使う「す」や日本酒を、少し花びんの水に入れてやると、やはり、殺菌効果があっ
て、花が長持ちします。

はな き くち や き くち びせいぶつ ふせ
花をいけると、切り口を焼くといいいわれるのも、切り口に微生物などがつくのを防
ぐ効果があるからです。(監修・矢野 亮)

